



# 第17回 ソリューションランド 松山大会

## 湯上りは 解決志向も 五七五

9月17日 日曜日 9:30～17:00

会場 愛媛大学教育学部 103教室 松山市文京町3番

9:00～9:30	受付
9:30～10:30 セッション1	「当事者から見た西日本豪雨災害で被災した小学校の復旧・復興の過程」 久保 貞さん（元大洲市立肱川小学校長）
10:45～12:15 セッション2	「ある解決志向プリーセラピストのライフストーリー」 相模 健人さん（愛媛大学教育学部）
12:15～13:15	ランチタイム
13:15～15:15 セッション3	「私たちはコンプるで何をしているのだろうか？」 三島 徳雄さん（福岡聖恵病院心療内科）
15:30～17:00 セッション4	「人生100年時代を生きるための解決志向」 長田 清さん（長田クリニック）

＜参加費＞ 3,000円 社会人ではない学生は無料

参加お申し込みは、ソリューションランドのHPでお願い致します。

<https://solutionland.com/taikai/17/index.html>



### 懇親会のご案内

大会前日の9月16日土曜日18時半から、個室&ダイニング **soar そあー**にて懇親会を開きます。

愛媛県松山市二番町2-7-18 コア二番町ビル 1F 八坂通り沿い・キスケパーキング道路側

参加費は 4,000円です。こちら是非ご参加ください。



会場 **愛媛大学教育学部 103教室** 松山市文京町 3 番

交通案内

JR 松山駅から	①伊予鉄道市内電車「JR 松山駅前」(JR 松山駅から徒歩2分) ②環状線1番に乗車。 ③「赤十字病院前」下車, 北へ徒歩2~5分 愛媛大学正門前
松山市駅から	①伊予鉄道市内電車「松山市駅」(屋外徒歩1分) ②環状線1番または環状線2番に乗車。 ③「赤十字病院前」下車, 北へ徒歩2~5分 愛媛大学正門前
空港から	①松山空港リムジンバス乗車(松山市駅・道後温泉行き) ②JR 松山駅にて下車。※上記「JR 松山駅から」を参照。



キャンパス地図



## プログラムの概要

### 9:30～10:30 セッション 1

#### 当事者から見た西日本豪雨災害で被災した小学校の復旧・復興の過程

久保 貞さん（元大洲市立肱川小学校長）

大規模な自然災害等が起こった後、子どもたちの心をケアしつつ、どのように学校の復旧・復興を進めるとよいかということについて検証することが求められていると思います。被災した人や地域へどのような関わりや支援ができたかという研究報告は多いのですが、当事者による復旧・復興を報告した事例は少ないようです。

そこで、西日本豪雨災害に被災した $\alpha$ 小学校に当時、勤務していた教職員から半構造化面接によるインタビュー調査を行い、複線径路・等至性モデル(TEM)により分析してみました。日頃から、ソリューション・フォーカスト・アプローチを学校経営に取り入れようと努めていましたが、特に被災後の学校復旧・復興においてどのように役立ったかについて考察してみました。

先生方が子どもたちをそれぞれの立場から見守り、個に応じた支援をしたり、子ども同士の繋がりを強くするための教育活動や体験活動を意図的に行ったりしたのですが、それにより、子どもたちの心と体が育ち、被災のトラウマから回復する力を身に付けることができたのではないかと考えています。

### 10:45～12:15 セッション 2

#### ある解決志向ブリーフセラピストのライフストーリー

相模 健人さん（愛媛大学教育学部）

今回のお話を受けて何をお話したらいいですか？と竹之内さんに伺ったところ、「相模の解決志向 17手とかどうですか？」とアドバイスを頂きました。それで考えてみたところ、自分自身が解決志向を何か独自に開発して使っているわけではないのですが、面接の構成や展開の仕方についてはどうも自分なりにやっているように思えてきました。それはもちろん解決志向の理論の影響下ではあるのですが、どうも自分のこれまで見てきたものや体験したものとの結びつきが強いのではないかと思います。そこで今回は自分のこれまでを振り返ってみて、何が自分の解決志向の面接の構成や展開の仕方に影響を与えてきたかを考え、久保さんの使われている複線径路・等至性モデル(TEM,TEA)を用いて図示(一人なので未完成なのですが)してみて、できればそこに参加しているみなさんのライフストーリーもそれぞれに投影していただければ…という風に考えています。うまくいかは分かりませんが、せっかくの機会なので好きに話してみたいと思います。

### 13:15～15:15 セッション 3

#### 「私たちはコンプるで何をしているのだろうか？」

三島 徳雄さん（福岡聖恵病院心療内科）

日本にいる私たちも、解決志向ブリーフセラピーで多くの経験をしてきました。各自が生活や仕事の中で活用できるように工夫してきたと思います。しかし、情報交換の際はオリジナルと同じ名称や表現を使っているでしょう。その結果、各自の工夫が表面に現れにくい現状があるように思います。

こういう影響を受けやすいものの一つにコンプリメント（以下、コンプる）があります。各質問法は、詳細な説明に従って練習することができます。一方コンプるは、概念自体は難しくありませんが、環境や文化の影響も受けて実際に行くと個人差が出やすいように思います。私の個人的な経験では、研修参加時の練習で一番違いを感じたものの一つでした。

私はこの違いをポジティブに捉え、客観的な方法で日本でのコンプるの現状を明らかにしたいと考えました。このセッションに来ていただく全員を参加者として、ブレインストーミングとKJ法を使って、“私たちがコンプるで何をしているか”を探りたいと考えています。文字通り、このセッションでは参加者一人ひとりが主役です。計画通りに行けば、コンプるに関する全体での共通理解が生まれるものと思っています。そうでなくても、活動そのものから貴重な経験を得ていただけるのではないかと期待しています。

### 15:30～17:00 セッション 4

#### 「人生 100 年時代を生きるための解決志向」

長田 清さん（長田クリニック）

医療の進歩と福祉サービスの向上、社会環境の整備などで長寿時代を迎えています。健康寿命もどんどん延びてきています。もしかしたら今でも、早死に世代が作った「60 才～65 才定年」をゴールに働いている人がいますか。いざゴールに到達して、そこに何もなかったら大変です。80 代も元気に社会活動ができる社会になってきています。ポーツと生きてたら、チコちゃんに叱れます。解決志向を使って、100 まで元気に生きる明日を目指しましょう。いろいろワークをして、あなたのこれからの数十年を設計します。